

広報

環境カウンセラーちば

第52号
特定非営利活動法人
環境カウンセラー
千葉県協議会

環境カウンセラーは、環境省により認定された環境に関する専門家です。
地球温暖化対策、廃棄物対策、水環境問題、環境教育・環境学習、環境経営システムのことなど
お気軽にご相談下さい。

[巻頭挨拶]

来年は EC 千葉創立 20 周年を迎えます。

理事長 見 並 勝 佳

まだ師走に入ったばかりで来年のことを言うと笑われそうですが、2018年(平成30年)は、当協議会 EC千葉が20歳になる年です。記念となる次の十年に続くものと企画の最終段階です。皆様のご意見を是非お寄せ下さい。お待ちしております。

さて、今年最後の広報ですので、今年のこと、来年のことなどを幾つか述べます。

環境カウンセラー制度：1996年(平成8年)に発足した制度で、制度疲労とか低迷とかの議論がされているのも事実です。今年4月にこの制度が国会審議で初めて取り上げられました。(詳しくは、ECUホームページ) その効果でしょう。今年の募集では面接場所が3箇所から5箇所に増え、日曜日にも開催されました。門戸が少し広められたと考えています。その結果のEC千葉への影響は、来年の2月以降に判明します。仲間が増えることを期待しています。ただ、我がEC千葉は、会員を環境カウンセラーに限っていません。環境に関心のある方を会員として受け入れています。エコ検定受験の方には、是非仲間に入って頂きたいと考えています。

環境教育支援団体：2014年(平成26年)9月に環境教育促進法に基づく環境教育支援団体指定を文科省・環境省より受けていて現在に至っています。この11月に他の2団体と共に、環境省ヒアリングを初めて受けました。これまで、事業報告も求められていませんでしたが、制度5年目の評価がヒアリングの目的でした。活動内容を支援団体としての文脈で説明をしました。幹部級が出席されていて、何らかの施策があるでしょう。EC千葉がこの支援団体指定で顕著なメリットがあったとは言えないことは正直に報告しました。ただ、我々がこの制度を自律的に活用したかと問われると、胸を張ることは……

EC千葉研修会(1月27日開催)：今年の台風や大雨による生命財産被害、インフラ被害、あるいは漁業の変化等々、地球温暖化と言った概括的なことではなく気候変動の影響が体感されています。また、パリ協定からの米国離脱等国際的な動きもあります。そのような中で、我々がどう考えどう行動するかを主題に、「海水温の上昇と海で何が起きているか(仮題)」を弘前大学の野尻幸宏教授に講義をして頂くとともに、この問題をどのように市民に伝えるかも指導・助言をして頂こうと考えています。更に、今年10月の環境カウンセラー関東地区研修会での「地球温暖化一何に重点を置いて提言するかー」をコーディネートした橋本正氏(会員・事務局長)の講話を予定しています。詳細は、この広報、EC千葉ホームページおよび会員宛のメールでお知らせ致します。

[参加者からの寄稿]

<紀行文>

秋の乗鞍岳を往く＝中部山岳展望と瀑布観察

千葉市 浦部 純子

3度目の EC 千葉自然観察会参加です。暖かな日和のなか戸村さんの奥様に見送られて、19名でこじんまりとはいえ今回もみんなで楽しもうね！感いっぱいの出発です。

乗鞍岳は何十年か前の夏休みに、松本から島々へ東大ヒュッテへと兄に連れられて来た何となくの記憶を辿る旅です。

いつもの挨拶に好きなこと披露が加わって、各々の日々の暮らしが目に浮かぶような自己紹介でした。

小角 浩顧問から資料に沿って詳細な講義。

途中、中央自動車道釈迦堂 PA：釈迦堂遺跡博物館脇からは南アルプスが一望でき、「日本アルプスは中部地方にある」を初めて実感しました。

北アルプス・・・飛騨（ひだ）山脈。富山・岐阜・長野・新潟の4県にまたがる山脈

中央アルプス・・・木曾（きそ）山脈。長野県にある山脈

南アルプス・・・赤石（あかいし）山脈。長野・山梨・静岡の3県にまたがる山脈

最高峰・・・奥穂高岳 3,190m

最高峰・・・木曾駒ヶ岳 2,956m

最高峰・・・北岳 3,193m

レンズ状雲は風の伯爵夫人とも呼ばれ天気下り坂の兆しとか…。御坂山地、地蔵岳オベリスク、長坂、八ヶ岳、赤岳、権現岳、編笠山、甲斐駒ヶ岳。

釈迦堂 PA はお気に入りの PA になりました。

諏訪湖を眺め、長野自動車道松本 IC を下りて乗鞍高原へ。乗鞍高原は乗鞍岳の噴火により東麓に流出した番所溶岩によって形成された標高 1500m を中心とした山麓高原。梓川には稲核（いねこき）、水殿（みどの）と奈川渡（ながわど）の3つのダム、順番に大きくなっていきます。

笹と白樺林の中を「善五郎の滝」へ。ミズナラ、ブナ、カエデの広葉樹とサワラなどの針葉樹も。幅いっぱい落ちる水量豊富な綺麗な滝です。

善五郎の滝の案内板から、

昔、大野川の里に住んでいた、善五郎という樵がこの滝で釣りをしていたところ、釣針にかかった大きな岩魚に滝つぼへ引き込まれ命からがら逃げ帰り、里人たちにこの話をしました。それから、「善五郎の滝」といわれるようになりました。水の浸食により、今でも滝は後退を続けており、下流に見える川の淵は、昔の滝つぼの跡だとか。

休暇村乗鞍高原で昼食、お蕎麦にゆかりご飯も付いて満腹。

腹ごなしに休暇村乗鞍高原の駐車場から歩いてすぐの「牛留池」へ。変わった形の木も熊出没注意もあります。針葉樹に囲まれた池に山並みが映り込み美しく趣のある、ゆっくりしたくなる場所です。

「三本滝」、

つり橋を渡り、やっと辿り着いたかなと思うとあらまあまだもう少しあるの…、ここまで来たら滝を見なくちゃねと頑張りました。あと 10 メートルを行くと名前の通り横に 3本の滝が並んで落ちています。中央の「本沢の滝」右手の「黒い沢の滝」左手の「無名沢の滝」。水源・趣きが異なる 3本の滝が合流するという珍しい滝とのこと。これこそマイナスイオンがいっぱいでいい気持ち。

車窓からナナカマド・サクラ・カエデの赤、ダケカンバ・ミズナラの黄色を眺めながら宿舎へチェックイン。

夕食の乾杯も賑やかに和気あいあいと星空を見たり、DVDを見たり、温泉につかったり、おしゃべりしたり。

翌日は朝から雨降りです。魔王岳はパスしてアルプス街道平湯（平湯バスターミナル）、「平湯大滝」へ。

小雨の中、溪流沿いの舗装された道を周りの紅葉を見ながら滝へ向かいます。道はなだらかです。途中でも滝の全容を望めますが、林道の奥へ行き滝に近づくとドォと豪快な音を立てていました。

約450年前に飛騨攻略で疲弊した武田軍を、白い老猿が平湯温泉に導いたという伝説が残る場所です。

平湯バスターミナルに戻り、昼食。団体客が大勢でした。お土産を買い、最後の滝「番所大滝」へ。

手摺を頼りにただひたすら下へ下へと降りて行くと水量が豊富な大迫力の滝が間近に見られました。板を重ねたような岩石割れ目が板状節理だそうです。岩に着いた幾種類もの苔を撫でながら戻りました。

一路松本へ。松本城、旧開智学校、なまこ壁の土蔵の風情ある中町通り。アルプスを望む美しい自然と風情ある街並みで一度は住んでみたかったな。

今回の乗鞍はどこも遊歩道・散策路が整備されていて驚きました。6月も夏もいいかな、何度でも来たくなります。乗鞍の自然美を満喫して帰路につきました。

楽しかった。小角さんはじめEC千葉の皆さんに感謝申し上げます。



乗鞍岳は、日本の火山としては富士山、御嶽山に次ぐ標高(剣ヶ峰 3,026m)を誇り、かつ日本の中央分水嶺の最高地点でもある。

飛騨側:北斜面 神通側…日本海、南斜面 飛騨川・本曾川…太平洋

信州側:梓川・犀川・千曲川・信濃川…日本海

乗鞍岳は、第4紀に隆起した飛騨山脈上に発達した乗鞍火山帯(列)の一部であり、この火山帯(列)は、北から立山*、鷲羽岳、硫黄岳、焼岳*、乗鞍岳*、御嶽*、上野山等からなる。(※は火山)

乗鞍岳は、中・古 生代の石灰岩、チャート、泥岩、砂岩等の堆積岩や花崗岩を貫いて第4紀後期に噴出した火山であり、火山噴出物の厚さは厚いところで凡そ700m程度とされている。ほぼ南北方向に連なる幾つかの小火山から構成され、北から四ツ岳、鳥帽子岳、恵比寿岳、大黒岳、摩利支天岳、千町、剣が峰、高天ヶ原が挙げられる。

乗鞍岳は全体として、北は安房峠から南は野麦峠まで15km余り、東西30kmに及ぶ巨大な山体であるが、独立峰の山体から植物の垂直分布が顕著である。1,500m以下の山地帯はブナ・ミズナラを主とする落葉広葉樹林、1,500~2,500mの亜高山帯は、オオシラビソ、トウヒ、コマツガ等の針葉樹林帯、2,500m以上の高山帯はコマクサ群落等の高山性草本、ハイマツ等の風衝性本木が生育する。位ヶ原、枯枝ヶ原のハイマツ帯は我が国最大規模のものである。

[小角講師説明資料から抜粋]

[会員の活動紹介]

老後の生きがい「環境学習」授業

千葉県山武市 小関 光二

1. はじめに

平成に入り我が国もなんとか産業公害を克服し、地域住民の生活環境を重視する雰囲気となり公害から環境へと意識が移ってきた。なかでも世界的な環境問題である「地球温暖化による気候変動」は、今や国連を巻き込んだ人類の重要課題の1つとなっている。その原因は、大量生産、大量消費に伴うエネルギーの大量消費、とりわけ化石燃料（石油、石炭、天然ガス）の大量消費に伴って排出されるCO₂が主原因とされている。

その対策はCO₂排出削減につながる省エネ、省資源及び再生エネルギーの普及の社会構造と生活態度の変革が必要で、これは我々の意識に係わる問題である。

私は退職を機に、温暖化対策法で定める「千葉県地球温暖化防止活動推進委員」となり、県民への啓発活動（環境フェアや講演活動）にNPOグループを通じて参画しているが、必ずしも盛大という状況にはない。環境問題に無関心な方々に関心を持ってもらうことが最大の課題である。

そこで、私は学校教育の中の「総合的な学習の時間」を利用して、学校での環境学習授業が、将来を担う子供達とその周辺の方々へ効果的な啓発活動ではないかと考え、リタイヤした平成15年の4月から小学校での環境学習を始めたいと考えた。

2. 学校との接触

法に定める「地球温暖化防止活動推進委員」ですと言ってもそう簡単に学校で授業をさせてはくれない。そこで私は市内S小学校に勤める知人のK先生に平成15年4月計画概要書を作り打診した。その内容は、校内で子供達と無農薬無化学肥料で10種類ほどの野菜をつくり、これを食材にして皆でカレーを野外で調理し昼食会を行なおうというものであった。K先生は学内で検討したようで「全面的にお願いしたい」との返事でした。対象は5,6年生約110名でした。私はうれしくなり即座に校内畑を視察、打ち合わせをして準備に入った。当時パソコンができず、模造紙5枚程度の資料を徹夜でつくったことを思い出す。

3. 市内S小学校での環境学習授業スタート

平成15年4月24日に人生初めて小学校の教壇に立った。既に64歳になっていた。総合学習室の3面に模造紙資料を張り、約110名の5,6年生を前に「野菜をつくって皆で食べて環境を守っていこう」をテーマに資料説明、質疑応答後、畑に出て10種類の野菜の種まき、苗植えを実施した。人参の種を初めて見てびっくりする児童や皆慣れない手つきで鍬を使い初日は無事に終わった。5月から7月にかけて、畑の草取りの体験学習と各種環境の話を組み合わせ3回授業を行い7月15日に野菜の収穫、16日にカレーの調理と会食、17日に成果発表会と3日連続で授業を行った。このように初年度は全部で7回の体験環境学習を行った。

次の年から4月になると学校から毎年環境学習授業の依頼がくるようになり、授業の内容も改善、充実しながら今日に至っている。平成20年度より4年生も加わり、以降今年度で15年目となった。学校で希望する料理はカレーが圧倒的に多く、他には肉じゃが、豚汁の年もあった。

ただ、児童数が年々減少し、野菜チームの編成が少なくなり、つくれる野菜の種類も減少せざるを得なくなってきた。

ここに、今年度実施した計画書（概要）を別表1に示します。

別表 1平成 29 年度市内 S 小学校環境学習計画書（概要）

| 日 程 | テーマおよび対象 | 内 容 |
|------------------|-------------------------|---|
| 第 1 回 4月 21 日 | 野菜づくりスタート 4, 5, 6 年生 | 6 種類の野菜を無農薬、無化学肥料で作り、生育の仕組みとその環境の大切さを体験をとおして学ぶ。 |
| 第 2 回 5月 16 日 | エネルギーを大切に 5 年生 | 1 チーム 4 人で力をあわせ手回し発電機で電気をおこし、ミニカーレース等を行い、発電の大変さ省エネルギーの必要なことを体験して学ぶ。 |
| 第 3 回 6月 20 日 | 水の話 4 年生 | 水が我々の生活にとって、いかに大切かを、食料と水、水の汚染などを、水の浄化実験をとおして学ぶ。 |
| 第 4 回 6月 27 日 | 二酸化炭素を調べてみよう 6 年生 | 地球温暖化の原因物質の 1 つである二酸化炭素について地球上での役割、温暖化への作用、その生成の原因、性質などを実験をしながら学ぶ。 |
| 第 5 回 7月 12 日 | 大昼食会—調理体験 4, 5, 6 年生 | 野菜づくりでとれた野菜を用い、まきを燃やしごはん、カレー、サラダ等を調理して、大昼食会を行う。努力が楽しい結果につながることを学ぶ。 |
| 第 6 回 9月 26 日 | ごみの話 4 年生 | ごみが増えると、生活環境は悪化し資源の浪費につながるの、日ごろの生活でどんなことに注意したらよいか、ごみの分別実践をとおして学ぶ。 |

4. 環境学習は総合学

環境問題を論ずるとき、どうしても科学的事柄が多くあたかも理系の分野と思いがちであるが、私は理系、文系を含めた総合学だと思っている。それは地球温暖化を考へても、社会構造や生活態度、ひいては人間の意識にかかわる問題であるからである。

そこで、私は環境学習授業のときに、学習の中に競争などの社会性を加えるため次の方法をとっている。

(1) 体験、対話（質疑応答）を主体に。

(2) 取り入れている要素

・自然の恵み（環境）に感謝すべし。—環境保全の精神—

理由 ・人間は地球環境の中でしか生きられない（生かされている）。

・人間は食物連鎖の頂点だが、おごるべからず。

他の生物の命をもらって生きている。

・社会性—協力と競争—の双方の実践が必要

理由 ・人間は 1 人ではいきられない。協力が必要。でも競争も必要（向上心）

・体験の必要性—五感をフルに使って、コミュニケーション能力の向上をはかる。

このように、「自然の恵みに感謝」、「社会性—協力と競争—」及び「体験の必要性」を取り入れたのがまさに別表 1 の計画書である。子供達にはこの 3 つの要素を含む体験的環境学習の目的は、健康（身体と心の健康）を得て、将来幸せな人生を送ってほしいからと伝えている。

5. 学校での現在までの実績

平成 15 年度から始めた学校での環境学習授業も今年度で 15 年目をむかえる。その間、別表 2 に示すとおり小学校、高等学校等あわせて計 120 回行った。

このうち、ほとんどが前出の市内 S 小学校（102 回）であるが、市外の東金市や千葉市内の学校からも依頼が来た。

あるとき、千葉大学付属小学校の先生が我が家を訪ねてこられた。話を聞くと、子供たちが、校歌の中に「黒いけむりに街は栄え」という歌詞があり、この意味を質問されたので説明したが、

別表2 環境学習授業実績（平成15～29年度） [回数]

| 分野 | 小学校 | 高等学校 工業高専 | 計 | 内容 |
|--------------|-----|--------------|-----|------------------------|
| 生態系 | 8 | | 8 | 蝶、虫、野鳥の保護 |
| こだわり野菜づくりと食育 | 50 | | 50 | 自然の恵みに感謝 野菜づくりと調理実践 |
| 地球温暖化防止・省エネ | 35 | 2 | 37 | 地球温暖化防止、省エネ 自然エネルギー |
| その他 | 22 | 3 | 25 | 大気汚染、水質汚濁、廃棄物 まちづくり |
| 計 | 115 | 5 | 120 | |

昔の千葉市内の大気汚染がどうして現在のようにきれいになったのかを知りたくて来たとのことでした。私の説明を聞き、これを研究授業にするが、私はゲストティーチャーとして授業を依頼され、学校に大気汚染対策の話に参りました。大気がきれいになったのは、昭和40年代に県市が京葉工業地帯の工場と公害防止協定を結び、法律より厳しい規制をしたからですが、これを子供たちにわかり易く話しました。私が自己紹介で、戦前教育を受けた最後の世代と紹介したところ、質疑の時間に、戦前の教育や生活状況の質問が多く出て時間が足りなくなり、日を改めて質疑だけの授業をやることになりました。

これまでの授業を通じ、子供達には親の慈悲深い本当の愛情が必要であることなど、勉強になる多くのことを経験させていただきました。感謝です。

6. おわりに

平成15年3月の退職後に始めた学校での環境学習授業は、今年度で、15年連続市内S小学校から依頼され、今年も9月のごみの授業をもって終わりました。年々体力が衰え、最近友人の助けをかりて行っております。

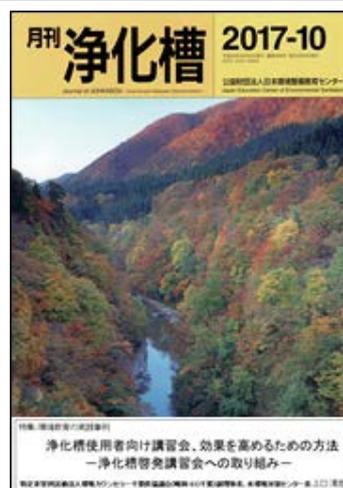
こんな中で、うれしいこともありました。昨年5月、教員室で担当の先生と打ち合わせをしていましたら、1人の若い女の先生が私の所に来て「〇〇です。平成17年度6年生のときに環境学習で大変お世話になりました」と挨拶されました。よく聞くと、4月に新任教師としてこの母校に勤め始めたとのこと。6年生のときに私の環境授業を受けた小さな女の子が、こんなに立派な先生になって母校に帰ってきたと嬉しい限りです。若い方がはつらつと仕事に打ち込んでいる姿を見ると美しいものです。苦労のある環境学習もこんなことに会えると、一層、老後の生きがいになるかもしれませんね。

「月刊浄化槽」記事の紹介

「月間浄化槽」平成29年10月10日号に浄化槽講習会に関する記事が掲載されました。水環境対策センターは、平成21年以降今年まで継続して浄化槽講習会に携わってきました。講習内容も時代に沿えるように改版を重ね、「月間浄化槽」への掲載に至りました。

今回は、環境教育の実践事例の特集号で、「浄化槽講習会の効果を高めるための方法」としての原稿依頼でした。

皆様も是非ご一読下さい。（上口清彦）



[会員の活動紹介]

環境カウンセラー活動と福島

鎌ヶ谷市 倉田 智子

1996年初年度登録で環境カウンセラーになった。市民部門、自然系である。20年経過し、その間理事として会務を担った時期もある。広報から活動紹介のお声がかかったので、EC登録分野の範囲のほかに東日本大震災後の活動について書いてみようと思う。

21.08 km²の市域に、なんと水系が印旛沼・手賀沼・東京湾と複数ある鎌ヶ谷市の水環境のおもしろさに魅かれてグループを結成、市内の川の始点を突き止め、流れを追った。調査報告書「川をたずねて」は3年後、鎌ヶ谷市郷土資料館(鎌ヶ谷市史研究第12号)に転載された。以来取り組んでいるテーマは、グループ名「かわ・水・みどり」そのままである。川と水は同じではないかと突っ込まれそうだが、川は流れる水、水は良質なものと捉えて欲しい。例えば、ホテルの保護は水の部分になる。これらが私の活動の根幹である。

2011.3.11 14時46分18秒、この時、私は我孫子市にある千葉県手賀沼親水広場・水の館にいた。手賀沼水環境保全協議会・水生植物再生活用事業検討委員会に出席するためである。3階から手賀沼を見ていると衝撃的な揺れが来た。何が起きたのか、一瞬分からなかった。すぐさま「外へ！」の呼びかけはあったが、動けない。ここは埋め立て地である。外へ出たら陥没か、倒壊か、と思うとエレベーター前にいた方が安全な気がした。

窓際のいくつもの水草の展示水槽から水がこぼれ、床は水深3cm程になった。会議の開催待ちの間、ほかになすこともなく掃除を手伝う。ちりとりで水をすくい、バケツに入れる。モップでは追い付かない量だった。3時過ぎ、会議は中止となり帰路を急いだ。手賀大橋を渡る手前で第二波の揺れが来た。橋が落ちたらどうしよう～県道の電線も電信柱の変圧器も、ゆらゆら揺れ、落下するのではと思うと恐怖であった。



鎌ヶ谷市水系図

2011.10.4~5、EC研修の際、EC千葉は小角浩氏の主導の下、「生物多様性保全活動促進法と環境カウンセラー」のテーマで分科会を担った。私は日ごろの活動紹介として「鎌ヶ谷の水環境の特異性、トンボで環境が判る～市民プールの取り組み、次世代に伝えること」などを発表した。研修には震災・原発被災地である南相馬市在住のEC、長澤利枝氏の現地報告があった。

パネリストの控室で長澤さんから話を伺った。当日のこと、原発被災のこと、避難の様子、そして今。身に詰まされることがたくさんあった。

2012. 4. 15、お誘いにより、南相馬市をたずねた。新幹線福島駅から高速バスに乗り換え、着いた会場は地元の方々にぎわっていた。そこは大家族が離ればなれに暮らすようになっての家族のふれあいの場であり、誰ともなく震災後の無事を確かめる再会の場であった。

長澤さんのご配慮により津波の現場に案内された。一年が経過し、鉄塔の電線は外され、津波で打ち上げられた船も、家々も片付けられていた。それでも、どれほどの大津波だったかがわかる。海岸には分別された震災がれきの山があった。この時期がれきと言ったら、ごみピットの中の、なにもかも一緒くたになった光景しか思い浮かばなかつただけに、この整然とした「がれき」には驚かされた。現在は移動不可のがれきは将来復興資材として使用するという。被災地の現状を広く知らせたい思いが募り、7月の鎌ヶ谷市環境展で展示を試みた。当時廃棄物等減量審議会委員を務めていたので、所轄のクリーン推進課に相談し、展示が可能になった。会期中には長澤さんが福島からお出かけくださっている。

2013. 4. 21、福島再訪。この時は50年ぶりという春の雪に見舞われた。福島駅からの高速バスは全村避難の飯館村を通過する。旧村役場に常駐するパトカーの轍は繁く雪に残り、特産品の牛肉を扱うミートプラザは雪に覆われ、誰一人立ち入らない状況を示していた。



それ以来訪問の都度、写真を撮り、ファイルを作成している。鎌ヶ谷市には年に2度、展示の機会があり、このことは願ってもないチャンス—市民の方々に被災地を知っていただく機会である。長澤さんもまた、毎回取材をし、独自のファイルを用意してくださっている。

「忘れないで ふくしま」の二人三脚である。

「12月14日小角浩様の訃報を受けて～」

小角様は1985年3月まで環境庁富士箱根伊豆国立公園管理事務所長でした。(広報31号参照) 私は1985年4月に箱根地区のサブレンジャーとして活動開始しました。

ご自宅には箱根が北限の大きな「ヒメシヤラ」が植栽されています。我が家も同様です。箱根の自然に魅せられた者として、ご冥福をお祈りいたします。

[開催報告]

「エコアクション21普及セミナー」

2017年7月21日(金)13:00~17:00、千葉商工会議所14階第2ホールにおいて、毎年この時期に実施している「エコアクション21普及セミナー」を開催しました。

今回は、これからエコアクション21の認証・登録をされようとお考えの事業者様だけでなく、すでに認証・登録されている事業者様にもご参加いただけるよう、恒例の講演と事例紹介に加え、「フォローアップコーナー」(認証・登録事業者様向け講演)を設けました。

さらに、講演に先立ち、エコアクション21認証・登録を10年継続されている事業者様への感謝状および記念品の贈呈を行いました。今回対象となられた事業者様13社のうち、株式会社ケムコ様、神鋼ボルト株式会社様、ガレージ藤枝様にご出席いただき、エコアクション21中央事務局安井至理事長からの感謝状と記念品をお渡ししました。

事例発表では、株式会社永光自動車様と株式会社千葉マツダ様から大変に興味深く、かつ今後のエコアクション21への取り組みに示唆の多い講演をしていただきました。

| エコアクション21普及セミナー ＜プログラム＞ | | 2017年度 エコアクション21認証・登録10年継続事業者様 [感謝状・記念品贈呈] | |
|--|-------------------|--|-------------|
| 日時 | 場所 | 事業者名 | 認証・登録日 |
| 平成29年7月21日(金) 13:00~16:40 | 千葉商工会議所 14階 第2ホール | 1 株式会社遠藤製作所 | 2007年 7月 3日 |
| 主催 エコアクション21地域事務局 千葉県環境財団 NPO法人環境カウンセラー千葉県協議会 千葉商工会議所 | | 2 株式会社ダスティ | 2007年 7月23日 |
| 第1部 エコアクション21認証・登録10年継続事業者様へ 感謝状贈呈式 | | 3 資源ゴミ選別業務共同企業体 松戸市再生資源事業協同組合 | 2007年 7月31日 |
| 第2部 エコアクション21普及セミナー | | 4 株式会社ケムコ | 2007年 9月 3日 |
| I. 講演「エコアクション21の概要と認証・登録の手続きについて」 講師：服部 達雄 氏 (EA21地域事務局千葉県環境財団) | | 5 株式会社アキテック | 2007年 9月13日 |
| II. 事例紹介 エコアクション21に取り組んでの成果 | | 6 神鋼ボルト株式会社 | 2007年 9月20日 |
| (1)株式会社 永光自動車工業 代表取締役社長 木俣 博光 氏 | | 7 ガレージ藤枝 | 2007年11月 6日 |
| (2)株式会社 千葉マツダ 総務グループ 課長 日暮 匡志 氏 | | 8 山本産業株式会社 | 2007年12月13日 |
| III. 認証・登録事業者様「フォローアップコーナー」 「一より良いEA21活動にするヒントは？」 講師：戸村 泰 氏 (エコアクション21審査人) | | 9 株式会社京葉総業 | 2008年 2月 5日 |
| | | 10 株式会社建総 | 2008年 2月 8日 |
| | | 11 ボーソー油脂株式会社 | 2008年 2月13日 |
| | | 12 株式会社サンコー | 2008年 3月11日 |

エコアクション21とは

エコアクション21は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム(EMS)です。「PDCA サイクル」と呼ばれる、パフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、組織や事業者等が環境への取り組みを自主的に行うための方法を定めています。

＜エコアクション21の特徴＞

- ①環境経営システムの構築、運用、維持に必要な環境への取り組みを規定しており、中小企業でも容易に取り組める環境経営システムです
- ②環境経営レポートの作成と公表を必須の要件として、外部との環境コミュニケーションに積極的に取り組むことを規定しています。
- ③事業者の自主的・積極的な取り組みを第三者が評価する認証・登録制度を備えています。
- ④日本の環境政策における重要な施策の一つとして、国の環境基本計画や地球温暖化対策計画の中でその普及拡大が期待されています。また、優良産業廃棄物処理業者認定制度における資格要件の中も加えられています。

認証・登録制度の詳細や手続きは、次をご覧ください。

エコアクション21中央事務局ホームページ <http://ea21.jp/>

[開催報告]

第20回企業環境セミナー

本年10月27日、第20回企業環境セミナーを千葉商工会議所で開催しました。

今から20年前の1998年、設立したばかりのわが環境カウンセラー千葉県協議会（EC千葉）は、千葉県主催の第3回「エコメッセちば」の開催企画に対し、市民対象のイベントだけでなく、県内企業に環境経営を啓発するための「企業環境セミナー」を提案しました。折から環境庁では、全国的に「環境管理・監査普及推進事業」を推進されようとしており、それとドッキングさせて第1回「企業環境セミナー」を開催することとなり、10月、幕張のセイコーインスツルメンツSIIホールで、環境庁、千葉県、千葉商工会議所、EC千葉の共催で開催しました。

第2回以降は、千葉県の指導を受けて、「エコメッセちば」の賛同行事として、毎年、千葉商工会議所とECちばが主催となって、シャープ幕張ビルで開催することとなりました。そして、第5回からは会場を千葉商工会議所とし、第7回からは「エコメッセちば」賛同行事から離れて単独事業とすることとなり、ISO 14001による環境マネジメントシステム（EMS）の普及、活用を中心に開催を続け、今年はちょうど第20回となりました。

このような経緯から千葉県をはじめ県内の諸団体から毎回、後援をお願いし、受講者募集の協力もいただいております。受講者もリピーターが多く、今回の受講者は38名でした。

このISO 14001は、2015年9月に改定が行われ、企業の各種マネジメントシステムの統合の第一歩として、品質マネジメントシステムのISO 9001との一致性が高められました。

規格改定で、すでに認証取得をしている事業者は、改定後3年以内の2018年9月までに新規規格への移行をしなければならないため、この記念すべき第20回「企業環境セミナー」は、メインテーマを「改定ISO 9001への対応及び実践」として開催しました。

まず第1部の講演では、「ISO 14001:2015改定版への対応」と題して、オーディックスレジストラ（株）代表取締役社長で日本環境管理監査人協会（JEMAS）理事の齋藤 喜孝様が、今回の改定対応で効果のあるEMSの構築と運用のポイントとして、規格改定の要点の説明と、規格要求の「組織の課題」や「リスク及び機会」の決定は難解でどう取り組むかためらっている事業者も多く、事例を示しながら分かりやすく講義をしていただきました。

つづいて第2部は、事業者からの新規規格への取組みの事例紹介をしていただきました。

最初に、「廃棄物処理業のISO 14001への取組み」と題し、大平興産（株）取締役総務部長 平澤 雅彦様が、廃棄物最終処分場の効果的な管理の要点を紹介され、規格改定に係る移行作業もPDCA（計画・実行・チェック・改善）を回されていることも特徴的でした。

つぎに富士石油（株）袖ヶ浦製油所 TPM 推進室課長の鈴木 勝美様が「ISO 2015年版移行審査を終えて」というテーマで、新規規格への移行にあたって該社のTPM活動に当てはめられ、計画的でかつ効果的な活動であったことを紹介されました。

第3部では、ISO 14001及びISO 9001の改定に伴う困りごとなどの個別相談会を行いました。が、予想に反して相談希望者が少なくわずか1社のみでした。



【訃報】当協議会初代理事長 小角 浩 様 ご逝去（平成29年12月10日）

小角浩さんの訃報を受け、茫然としています。あまりに突然のご他界でした。

来年はEC千葉の創立20周年の年です。20年前に小角さんを代表とする環境カウンセラー千葉県協議会が発足し、その後の基礎造りをしていただきました。永年の環境行政の知見と深い学識で、当協議会だけでなく、全国の環境カウンセラー活動や環境行政に大きな足跡を残されています。

会を産み育ててくれた父親に20年間の御礼をどのようにしようかと、思案をしているところでした。一緒にお祝いができない悲しさと残念な気持ちは表しようがありません。今秋に開催した乗鞍自然観察会が、数多くご指導を頂いた自然観察会の最後となってしまいました。来年の計画案を既に検討されていたと聞いています。

充実した環境カウンセラー活動を会員と力を併せて行いなさいとの声が聞こえます
小角さんの歩みを引継ぎ、会の運営に微力ながら努力を致します。合掌。

（理事長 見並 勝佳）

新入会員紹介

生野 宏 (いくの ひろし) 八千代市

12月から入会させて頂きました。事業者部門です。電力卸会社にて石炭火力発電所の環境保全対策（大気、水質、廃棄物）技術および地球温暖化対策技術の研究開発、環境マネジメントシステムなどに携わってきました。

現在は継続雇用にてフルタイムで勤務しており、2019年3月にはリタイア予定ですので4月からは本格的に活動したいと思っておりますので宜しくお願いします。

今後の行事予定（開催案内）

☆新年会

日時：2018年1月7日（日）16:30～
会場：千葉センシティタワー22階
手作 居酒屋 甘太郎

☆研修会

日時：平成30年1月27日（土）
会場：千葉市文化センター会議室
内容：講演-1：（基調講演）
国立環境研究所（弘前大学）
「野尻 幸宏 先生」
講演-2：EC千葉「橋本 正 氏」
討議およびまとめ

最近のEC千葉の活動

| | | |
|------------------|--|---------------|
| エコメッセ 2017 in ちば | 10月9日 | 幕張メッセ国際会議場 |
| 第9回かまがや環境フェア | 10月14日 | 鎌ヶ谷市役所 |
| 平成29年度浄化槽講習会 | 11月11日 | 野田市市庁舎会議室 |
| | 11月18日 | 匝瑳市市民ふれあいセンター |
| | 11月25日 | 印西市中央公民館 |
| 内部監査員養成講座 | 9月14, 15日 | (ISO 9001) |
| 会場：千葉商工会議所 | 10月5, 6日 | (ISO 14001) |
| 関東ブロック環境カウンセラー研修 | [10月23日、東京・代々木] (地球温暖化対策分科会コーディネーター：EC千葉・橋本正理事) | |
| エコ検定試験受験対策講座 | 10月29日 | (集中講座) |
| | 11月26日 | (直前講座) |
| うちエコ診断事業 | 11月末にH29年度目標50件に到達 ※活動内容についてはEC千葉ホームページをご覧ください。 | |

総務部からのお知らせ

2017年7月1日～12月10日の間に
当協議会へご寄付いただきました。
ありがとうございました。

上口 清彦 様 10,000円
久保田 隆 様 4,000円
松村 利治 様 2,000円

広報 環境カウンセラーちば 第52号（発行日 2017年12月20日）

発行：特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会（責任者：事務局長 橋本 正）
（編集担当：事務局次長 服部達雄）

事務局：〒275-0012 習志野市本大久保 4-9-4

(Tel & Fax) 047-478-3237 (E-mail) ta-hashimo@nifty.com

(URL) <http://ecchiba.sakura.ne.jp/>

<年会費等の振込先> 郵便振替口座 00110-5-34692

(加入者名 NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会)